

### ■ iCATをお知りになったきっかけは何でしょうか？

GENDEXをお使いの先生に、「iCATのCTはいいよ。一番はCT値が出ること。」とおすすめていただいたのが最初です。

インプラントをやりたいので開業時にCTはどうしても入れたいと考えていました。最初は以前勤務していた医院で使っていた装置を検討していたのですが、撮影範囲が狭いし、位置決めが難しいのが難点でした。それに比べてGENDEXは撮影範囲が広く、CT値も出るし、位置決めもしやすい。画像も非常にクリアで精度高い診断ができますよね。前の医院の装置より少し高くなりましたが、十分に手が届く価格だったので決めました。

### ■ 導入から約2年ですが日々の診療にどのようにお使いでしょうか？

歯科用CTは被曝量が少ないということもあり、初診時には必ずCT撮影をするようにしています。

エンドの場合、デンタルだとどの根が悪いのかわからず、全部を疑うということもありましたが、CTだとあらかじめどの根管かわかった上で感染根管処置を始められます。近心根だけ処置すればいいなどとわかっていると大幅に時間が短縮します。

インプラントでは、CTを撮りたいと思うときにすでにCT画像があると、すぐにきちんとした説明ができます。骨のない人には状況を説明をした上でインプラントではなく別の治療法の検討もできます。次の選択肢に早く誘導できると患者さんも無意味な来院を防げてスムーズな診療となります。そういった点でもメリットを感じています。

### ■ お使いになって何か変わったことはありますか？

間違いなくスタッフのレベルはあがりました。患者さんにわかりやすいということは、スタッフにもわかりやすいんです。CT画像に興味を持つようになって、自分たちで画像を見て治療計画の提案をして来るようになりました。根分岐部病変とか、それに限らず骨の欠損状態を見て、処置の方法をあらかじめ決めておけると通院期間が短くなります。歯科は患者さんに飽きられるということとの戦いなので、略治は1日でも早い方がいいんです。



### ■ 医院運営においてCTはどのような役割を果たしていますか？

自分もスタッフも患者さんも状況判断ができるツールです。パノラマだけだったら今の診療は実現できないし、スピードがものすごく遅くなっていたと思います。スピードが上がったことで「やまびこ歯科は早くていいよ」と評判です。通う期間が短い。他医院で半年も1年もかかってまだ終わっていない患者さんが、うちだと3、4か月で何とかしてくれると聞きつけて来院されます。CTを撮って状況を把握した上での確にどんどんやってくれると評価をいただいているようです。抜歯の際も、患者さんと一緒にCT画像を見ながらこういう理由で抜歯しないと無理ですよと説明すると、患者さんも納得されますし判断が速くなります。説得力が違います。

転院されてくる方はわからないままだったらと処置が続くのが嫌なわけで、きちんと説明をするとそのままインプラントをしようかなという話になったりもします。やまびこ歯科のインプラントは痛くなくて腫れないって結構評価をいただいています。私も、腫れない、痛みのないインプラント治療を目指しています。それもCTを撮っているからこそ侵襲が少なくできてからだとはいえます。

CTを入れておいて本当に良かったなって思ってます。部分撮影ではなく、全顎が一度に撮影できるCTだからこそ、一口腔一単位で今の診療ができたといえますね。

### ■ 今後のiCATに望まれることは？

サージカルガイドがもう少しだけ受けられね（笑）。ガイドは安全のためですし、患者さんにとっても僕らにとってもあった方がいい。何よりこのLANDmarkerで自分が診断した通りのガイドができるっていうのは安心感があります。本当は僕は全症例で使いたいんですよ（笑）。価格が安ければ・・・、それだけが要望かな。

本日はお忙しいところお時間を頂戴しましてありがとうございました。

